再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤　淳志

事業名	一般国道1号戸部拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：神奈川県横浜市西区戸部本町 至：神奈川県横浜市西区浜松町			延長	0.7km

事業概要

一般国道１号神奈川県区間は、横浜・川崎地区と小田原地区を連結する重要な路線である。戸部拡幅は、京浜急行線戸部駅から一般国道16号と接続する浜松町交差点までの延長約700mの区間を4車線から6車線に拡幅し、交通の円滑化、安全で快適な歩道空間の確保、沿道環境の改善を図る事業である。

Ｓ59年度事業化	Ｓ21年度都市計画決定 （Ｓ２７年度変更）	Ｓ62年度用地着手	Ｈ3年度工事着手

全体事業費	約２１６億円	事業進捗率	96%	供用済延長	0.0km
計画交通量	57,500～59,700台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) １．６ (残事業) ６３．９	８．２/３３７億円 事　業　費：6.4/335億円 維持管理費：1.8/1.8億円	５２７/５２７億円 走行時間短縮便益： 458/458億円 走行経費減少便益： 53/ 53億円 交通事故減少便益： 15/ 15億円	平成20年度

感度分析の結果　事業全体・残事業について感度分析を実施

【事業全体】交 通 量：B/C=1.4～1.7（交通量±10%）
事 業 費：B/C=1.5～1.6（事業費±10%）
事業期間：B/C=1.2～1.8（事業期間±20%）

【残事業】交 通 量：B/C=57.9～69.8（交通量±10%）
事 業 費：B/C=59.3～69.3（事業費±10%）
事業期間：B/C=62.6～65.2（事業期間±20%）

事業の効果等

・浜松町交差点を中心に交通渋滞が発生、車線の拡幅と合わせ交差点の改良でボトルネックを解消
・既成市街地で狭隘な歩道を通行する歩行者と自転車が輻輳、歩道拡幅で安全で快適な歩行空間を確保

関係する地方公共団体等の意見

・神奈川県の地域防災計画（第１次路線緊急輸送路）や第３次渋滞対策プログラムに位置づけられている。
・横浜市の長期ビジョンや基本計画が策定されている「ゆめはま２０１０プラン」に早期整備が示されている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成１３年に首都高速湾岸線が全線開通
みなとみらい２１地区事業（事業期間Ｓ58～Ｈ22、Ｈ19末進捗率96%）が事業中

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地取得率は約91%であり、平成１９年度より暫定整備の工事に着手。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成21年度までに、当該区間の一部６車線化、浜松町交差点の改良などを行い、暫定整備が完了する予定。暫定整備完了後は、交通状況に応じて、必要な措置を講じていく。

施設の構造や工法の変更等

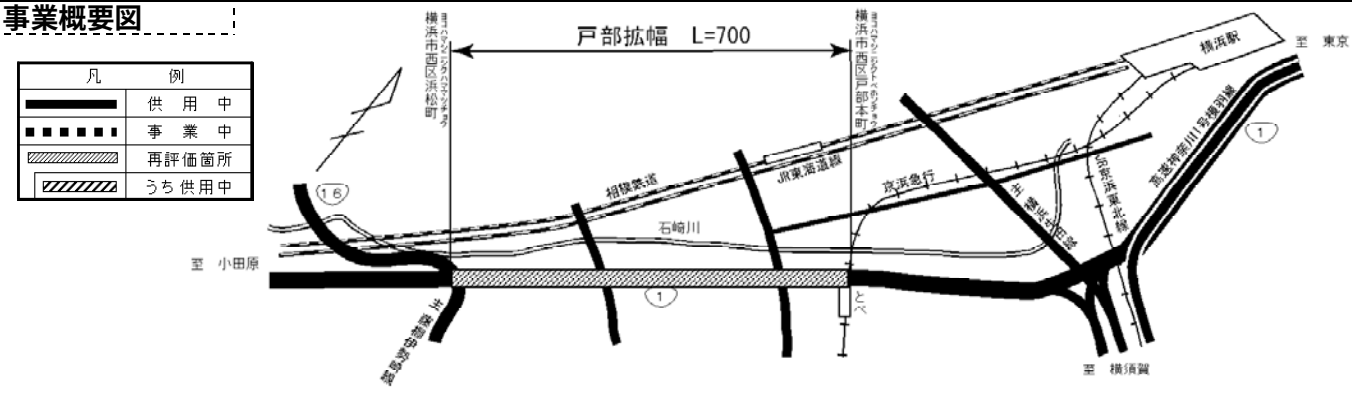
－

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

用地・工事の進捗が進んでおり、早期の効果発現を図ることが適切である。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。